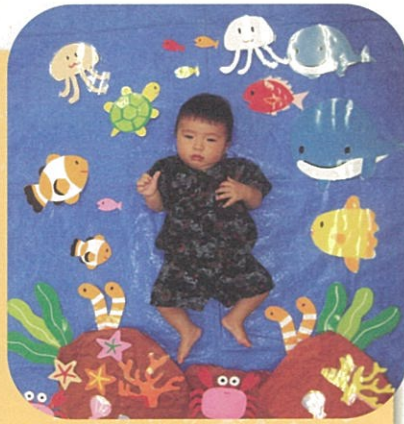


赤ちゃんタイム

毎月1回、1歳未満のお子さんを対象に、「赤ちゃん体操」、「お昼寝アート(奇数月)」を行っています。赤ちゃん向けの絵本の読み聞かせなどもしていますので、お子さんとゆっくり触れ合える素敵な時間です。まだ言葉を話せない赤ちゃん、コミュニケーションが図れるのが、ベビーマッサージの魅力です。ベビーマッサージを行うのは、赤ちゃんの体つきもだいぶしっかりしてきた、生後2〜3ヶ月頃からは良いと言われています。

ぜひ、遊びに来てくださいね。お家でもできる簡単なベビーマッサージもあります。お昼寝前や夜、寝る前にしてあげると、お子さんも気持ちよく眠りに入り、情緒の安定にもつながります。夜泣きへの対処法としてもオススメです。お待ちしております。



子育て支援センターへさくらサロンでは、色々な活動をしています。活動内容は、毎月の「さくら通信」でお知らせしています。市内の公園や保育園に出かけたり、アクティブセンターや福祉センター、図書館で出前保育をしたり、講師の先生方にも来ていただき、楽しい活動も計画していますよ。さくらサロンでは、どんなことをしているのか、行事紹介したいと思います。

さくらサロンの行事紹介

お話し会



図書館の2階でパネルシアターを見たり、手遊び、親子でのふれあい遊びをしたり、絵本にふれあう時間もあります。ゆっくりした時間が過ぎますよ。

英語で遊ぼう



講師のメロディ先生と一緒に簡単な英語で遊びます。英語の曲に合わせて手や体を動かしたり、カードやボール遊びをしたりして楽しいですよ。赤ちゃんには、子守歌になって、眠ったりするお子さんもいます。

園庭開放



南さくらこども園の園庭を利用して、遊びます。砂場や未満児コーナー、お船のアスレチックなど親子で沢山遊べますよ。雨天の日や赤ちゃん達は、サロンの室内でも遊ぶことができます。

次回号もサロンの行事紹介をします。お楽しみに!!

さくらサロン 6月の行事予定

コロナウイルス感染拡大防止対策のため、行事は入れていませんが、サロン室内・園庭の開放は再開しております。入り口での消毒、検温、自宅からのマスク着用のご協力をお願いいたします。

月	火	水	木	金	土
1 園庭開放 さくらサロン 9:00~16:50	2 園庭開放 さくらサロン 9:00~16:50	3 園庭開放 さくらサロン 9:00~16:50	4 園庭開放 さくらサロン 9:00~16:50	5 園庭開放 さくらサロン 9:00~16:50	6 園庭開放 さくらサロン 8:30~13:30
8 園庭開放 さくらサロン 9:00~16:50	9 園庭開放 さくらサロン 9:00~16:50	10 園庭開放 さくらサロン 9:00~16:50	11 園庭開放 さくらサロン 9:00~16:50	12 園庭開放 さくらサロン 9:00~16:50	13 園庭開放 さくらサロン 8:30~13:30
15 園庭開放 さくらサロン 9:00~16:50	16 園庭開放 さくらサロン 9:00~16:50	17 園庭開放 さくらサロン 9:00~16:50	18 園庭開放 さくらサロン 9:00~16:50	19 園庭開放 さくらサロン 9:00~16:50	20 園庭開放 さくらサロン 8:30~13:30
22 園庭開放 さくらサロン 9:00~16:50	23 園庭開放 さくらサロン 9:00~16:50	24 園庭開放 さくらサロン 9:00~16:50	25 園庭開放 さくらサロン 9:00~16:50	26 園庭開放 さくらサロン 9:00~16:50	27 園庭開放 さくらサロン 8:30~13:30
29 園庭開放 さくらサロン 9:00~16:50	30 園庭開放 さくらサロン 9:00~16:50	1	2	3	4

* 園庭開放の日でも職員はいます。遊びや相談など、気軽に声を掛けてください。
* 外での活動で雨天の場合は、サロンでの自由遊びになります。

串間市子育て支援センター

「さくらサロン」ってどんなところ?

「さくらサロン」は、串間市に2箇所ある子育て支援拠点のうちの1つです。子育て家庭の孤立が進む中、お母さんお父さんたちが気兼ねなく集い、お子さんを自由に遊ばせながらつながりあうことのできる場所。そして子どもたちの健やかな成長を支援するための施設です。

具体的には...

- 親子で楽しく遊べるプレイルームの開放
 - 親子向け講座の実施
 - 職員による育児の悩み相談
 - 身近な地域や施設への出前保育
 - 地域の子育て情報の提供
- ...など行っております。

開館時間 ※日祝は休館

【月〜金】9:00~17:00 (16:50 片付け)
【土】8:30~13:30 (13:20 片付け)

所在地

〒888-0005
宮崎県串間市大字北方7358番地2(南さくらこども園内)

お問い合わせ

メールアドレス: saron@love.made.ne.jp
TEL: 0987-72-5623



編集: さくら通信編集部
発行: 串間市地域子育て支援センター(さくらサロン)
責任者: 南さくら幼保連携型認定こども園 副園長 崎村 尚子
E-mail: saron@love.made.ne.jp
TEL: 0987-72-5623
※所在地は下記さくらサロンと同様

第241号

6月号



バックナンバーがHPでも見られます!
https://www.minami-sakura.com/minami_sakura/

★手作りおもちゃ★

★ ペットボトルの きらきらドーム ★

【材料】

- ミニサイズのペットボトル(R-1の容器など)
- 水 ●洗濯のり ●接着剤
- 飾り(ビーズやストロー、スパンコールなど)

【作り方】

- ①ペットボトルにビーズなどを入れる。
- ②水を半分入れて少しづつ洗濯のりを足し、割りばしなどを使い泡立てないように混ぜて、ビーズなどの沈み具合を見る。
- ③ちょうど良い状態に調節しながら、ペットボトルが満タンになるように水と洗濯のりを足していく。
- ④ペットボトルのふたを閉める時に接着剤を塗ると、よりしっかり閉めることができ安心です。



ひっくり返すと、水の中でキラキラとゆっくり落ちていく、光るビーズやスパンコールにうっとり。赤ちゃんから大人まで楽しめます。何日か経つと、スパンコールから色が出てきて、透明から何色かに変わります。それも楽しいです!



親子で遊ぼう 手遊び歌

「手遊び歌」は、いつでもどこでも簡単に楽しむことができます。手や体を使って遊ぶので、脳や心、五感の発達を促すと言われています。ぜひ、お子さんと遊んでみて下さいね。

★ 「いっぽんばしこちょこちょ」 ★

- | | | |
|------------|--|----------------------|
| いっぽんばーしー | | 子供の手の平に指1本で線を引く |
| こーちょこちょー | | 子供の手の平をこちょこちょとくすぐる |
| たーたーいーて | | 子供の手の平を優しくたたく |
| つーねってー | | 子供の手の平を優しくつまむ |
| かいだんのぼってー | | 手のひらから肩にかけて指2本で登っていく |
| こちょこちょこちょー | | 子供の体全体をくすぐる |

手の平をこちょこちょやられたり、指2本で肩まで登ってきたり、最後に沢山くすぐる事で、子供がとっても喜ぶそうです。一本橋こちょこちょは、子供を笑顔にする事ができる手遊び歌です。特に赤ちゃんにとって足は、大きな刺激を感じる事が出来る場所です。足の裏に刺激を与えることで、赤ちゃんとの楽しいコミュニケーションをとることもできますよ。小さいお子さんでも足の裏はくすぐったくて、喜ぶと思います。



「地球温暖化」や「見えないうイルスとの戦い」など多くの課題と向き合っている。いかなる課題に直面しても、自分達の健康は自分で守ること。ただでさえ伝えていきたいと思っています。

尚子

みんなの子育て

VOICE

日南市南郷町在住 長尾菜美さん

自宅は南郷町の榎原なのですが、普段は北方の実家でペットホテルリゆうというお店を営んでおり、犬猫の預かり、宿泊、シャンプー等のお手入れなどをさせてもらっています。

子供は4歳と2歳の女の子2人で、地元で仕事をしている事もあり、南さくらこども園にお願いしています。保育園に入園する前は、生後間もない頃から、私のお店で犬や猫と毎日ふれあい、犬にまたがったり、犬を枕にして一緒に寝ていることもあり、笑わせてくれることも多々ありました。今では散歩やごはんのお手伝いをしてくれます。

育児をしていて、2人目の出産前後が特に大変だったイメージがあります。主人が3交代勤務だった事もあり、1人での育児の時間も多く、仕事、家事、育児の両立が何かと大変で辛かったです。ですが地元で仕事をしていることもあり、夕方や休日になると近所の方や子供達が立ち寄ってくれて、子



長尾太朗さんと菜美さんの長女 羽姫(きき)ちゃん(4歳9ヶ月)と、次女 羽姫(はりん)ちゃん(2歳6ヶ月)

供と遊んでくれたり、散歩やお昼寝までさせてくれて、今も本当に助かっています。毎日誰かが声をかけてくれるこの環境に感謝し、仕事や育児を楽しんでいきたいなと思っています。

子育て家族の健康まめ知識

赤ちゃんに大切なビタミンDについて

最近活性型ビタミンDが不足している子供が増えているそうです。骨の成長をアシストするビタミンDは食事だけでなく太陽の光からも生成されます。

骨を強く保つ働きは、カルシウムだけでなくビタミンDと一緒に摂取することが大事です。

活性型ビタミンDは、紫外線を10分浴びただけでも形成されます。

これからの時期、直射日光を避け吸湿性が良く通気性の良い服を着せ、帽子を着用して外出しましょう。



すくすく

Column

虫を探しにやってきたのか小鳥が羽根をパタパタさせながらキョロキョロと首を傾げて庭の草木を飛び回っています。そのうち急に大空に舞い上がってどこかに飛んでいきました。空を見上げると雲がちぎれるように流れていました。そろそろ雨の日が多くなりそうです。

肉眼では見ることのできない小さなコロナウイルスの脅威はまだまだ収束しそにありません。近代日本の感染症の歴史を調べてみました。日本は長い間の鎖国の時代があり島国であるという地理的条件からヨーロッパなど大陸続きの諸外国に比べると、多くの伝染病が持ち込まれる機会が少なかったと考えられます。そのため感染症に対する国民の意識が低く、感染の予防医学もずっと遅れていたようです。明治以降に来日した外国人が日本の衛生状態の低さを心配し「衛生観念」の一つとしてまずは「手洗いの大切さ」を教えたようです。横浜の居留地などに滞在する外国人が読む英字新聞には「水が不潔」という一文も掲載されています。彼らからすれば、「未開地」にきたようなもので、自分たちが感染症に冒される不安があったのでしょう。「日本人は彼ら外国人が持ち込む新種の感染症を怖がり、外国人は日本の不衛生におびえる。」まさに明治時代は「文明の衝突」の時代でした。日本政府による医療体制の構築は、1871年の岩倉使節団がきっかけです。欧米を回り、先進的な医学教育を見聞、「西学文明の輸入」に尽力しました。医療の在り方も医療政策の機軸を漢方から西洋医学に転換したのです。

いま、国境を越えて人間社会全体の結束が望まれています。ウイルスに打ち勝つため、またはウイルスと共存するために様々な知恵が多くの人々により編み出され、医療の分野でも急激なスピードで研究や開発が行われています。さらに哲学者や経済学者などの知識を結集して、今までの社会とは違う形の社会の構築も始まろうとしています。移動を伴わない働き方やテレワークによる学び方や働き方などの話題が新聞やテレビで報じられています。どのような社会が構築されていくのでしょうか。

「地球温暖化」や「見えないうイルスとの戦い」など多くの課題と向き合っている。いかなる課題に直面しても、自分達の健康は自分で守ること。ただでさえ伝えていきたいと思っています。

尚子